

大阪市立東洋陶磁美術館では、下記の要領により韓国陶磁研究奨学生あるいは韓国陶磁研究者を募集します。

応募希望者は、住所、氏名、連絡先電話番号を明記し、430 円分の切手を同封のうえ当館「韓国陶磁研究奨学・研究助成係」にお申し込み下さい。折り返し応募書類をお送りします。

目 的

韓国陶磁研究助成制度は、韓国陶磁の研究を志す大学院生・研究者等に大韓民国（韓国）への留学研究費用を助成することによって人材を育成し、あるいは韓国陶磁の研究を促進するために研究助成をすることによって、日韓文化交流・日韓友好親善等に寄与することを目的とする。

内 容

奨学生・研究者を公募のうえ、1 名（共同研究の場合はその代表者）を選考し、韓国の大学・美術館・博物館研究機関等の協力を得て、研修、研究活動に従事するために必要な経費（日本・韓国間の旅費及び韓国内における滞在費、研修費、研究費等）に対し 200 万円を限度として助成する。

応募資格

以下の各号の要件をすべて備えている者

1. 奨学生の場合は日本国内の大学院の院生。ただし韓国からの国公費、あるいは私費による留学生は対象外とする。

研究者の場合は日本国内の大学・研究施設等に在籍する者、あるいは韓国陶磁及び陶磁史を研究している者。

2. 研修・研究活動に支障のない程度の語学能力を備えている者

留学・研究先

韓国陶磁研究を可能とする韓国における大学、大学院、研究施設（博物館、美術館、研究所等）とする。

期 間

奨学生及び研究者は、平成 16 年 9 月 1 日以降 12 か月以内の期間、韓国内の受け入れ先において研修・研究活動に従事すること。平成 18 年 3 月末日までに、研修・研究成果の報告書を提出すること（研究成果は当館における口頭、あるいは印刷物で発表を求めることがある）。

募集人員

1 名（共同研究の場合はその代表者）

応募書類等

1. 応募書類

奨学生

(1) 願書

(2) 研修・研究活動計画書

ア. 研究の目的・内容、期待される成果等についてまとめる（別紙添付可）。

イ. 研修・研究計画表

(3) 推薦状

指導教授、所属機関の長など応募者に対し、在籍している大学院、研究機関等で責任をもつべき立場にある者による推薦状。

(4) 在学証明書

(5) 所要経費概算見積書

(6) 研究実績書

代表的な論文の写し、または修士論文、卒業論文の写しを 10 部添付すること。但し 3 点以内に限る。

(7) ハングル検定等の語学能力を示すもの

(8) 受け入れ承諾書等、研究・研修について受け入れ側との具体的な準備状況がわかるもの。

<注> (1) ~ (6) は所定の様式によるもの。

研究者

(1) 願書

(2) 研究活動計画書

ア. 研究の目的・内容、期待される成果等についてまとめる（別紙添付可）。

イ. 研修・研究計画表

(3) 所要経費概算見積書

(4) 研究実績書

代表的な論文の写しを 10 部添付すること。（但し、3 点以内に限る）

<注>共同研究の場合は(1)のみを共同研究者全員の提出とし、(2)以降は代表者のみで可

2. 提出期限

平成 16 年 7 月 10 日（土）「韓国陶磁研究奨学・研究助成係」宛に郵送により期限内必着のこと。

3. 選 考

奨学生の場合

- (1) 選考委員会により書類選考を行い、その合否は郵送により通知する。
- (2) 面接試験。(1)の合格者に対し、7月24日(土)に東洋陶磁美術館(詳細は追って通知)にて面接試験を行う。最終合否については8月上旬に郵送により応募者に通知する。

研究者の場合は書類選考のみを行い、その結果を郵送により通知する。

《本奨学・研究助成制度への応募、問合せ、および応募書類の請求先》

大阪市立東洋陶磁美術館学芸課「韓国陶磁研究奨学・研究助成係」

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26

TEL : 06 (6223) 0055/0058, FAX : 06 (6223) 0057